

# 大垣警察署庁舎新築工事の基本設計・実施設計

【プロポーザルの概要】

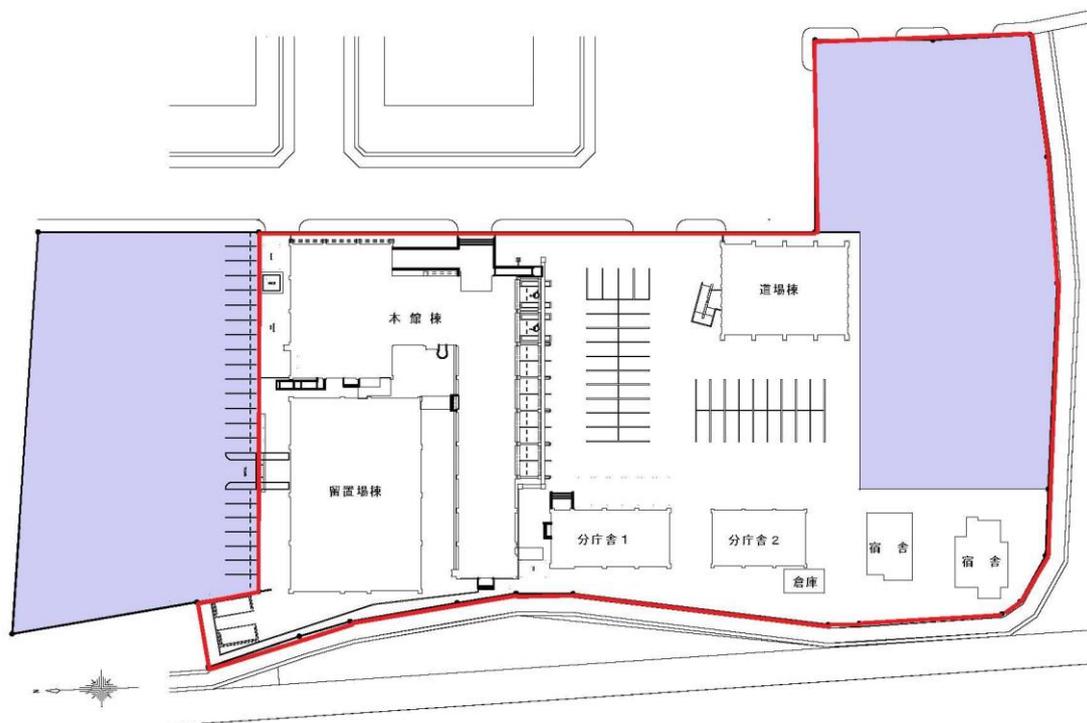
## ■ 計画概要

委託業務名称	大垣警察署庁舎新築工事の基本設計・実施設計
計画場所	大垣市江崎町 422 番地 10
敷地面積	建物敷地 約 9,250 m <sup>2</sup> 駐車場整備敷地 (現テニスコート) 約 1,250 m <sup>2</sup>
計画規模	延べ面積 7,396.4 m <sup>2</sup> (合計) 建物用途: 庁舎棟、車庫棟、自転車置場
想定事業費	36.3 億円 (新築: 33.1 億円 解体: 3.2 億円)
用途地域	第2種住居地域
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大垣警察署は県下警察署の中で最も古いため老朽化が著しく、敷地の狭隘による駐車場不足、庁舎の機能不備等の問題が顕著である。</li> <li>・同警察署は、災害時の西濃圏域における「基幹的な防災拠点」の役割を担うことから、現状の問題を解決するため、敷地を拡幅し、改築整備することにより、現状の問題を解決し、必要な性能・機能を保有した庁舎とする。</li> </ul>
その他	既設建物 5,283.84 m <sup>2</sup> 建物用途: 本館棟、道場棟、分庁舎棟 (2棟)、留置場棟、宿舎 (2棟)

## ■ 位置図



■ 現況配置図

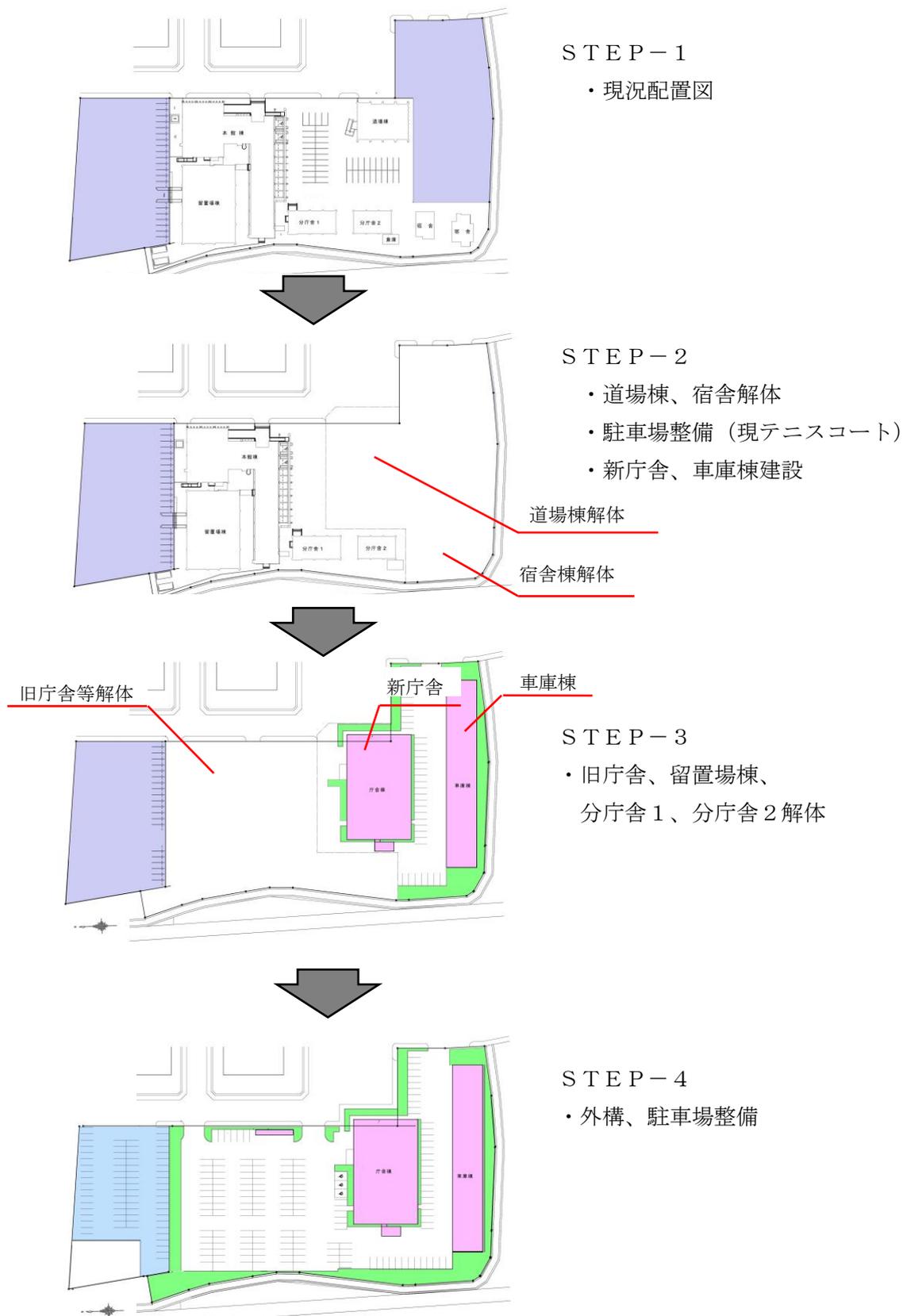


■ 計画地（航空写真）





■ 建設イメージ



※上記の建設イメージはあくまでも現時点での想定として参考を示しているものであり、提案内容を拘束するものではない。

## ■ 計画諸室一覧

新築工事により必要となる諸室一覧を下記に示す。

これは、施設の内容を理解するために参考を示しているものであり、提案において各室毎の平面プランを要求するものではない。

項目		計画面積	各部門の業務内容	
庁舎 の 構 成	事務室	1259.04 m <sup>2</sup>	会計	遺失物・拾得物の取扱い等
			警務	署員の庶務、相談、広報活動等
			交通	交通規制、交通指導、車庫証明、交通事故捜査等
			地域	地域のパトロール等警察活動の第一線業務を担う交番の総括
			刑事	事件受理、各種犯罪捜査等
			生活安全	防犯に関する業務、少年補導、少年犯罪の捜査等
			警備	警護、災害警備、雑踏警備等
	署長室	89.10 m <sup>2</sup>	捜査会議室を含む	
	留置施設	842.08 m <sup>2</sup>		
	捜査会議室	146.00 m <sup>2</sup>		
	大会議室	287.50 m <sup>2</sup>		
	柔剣道場	423.00 m <sup>2</sup>	器具庫、男女更衣室・シャワー室を含む	
	災害用装備品倉庫	150.00 m <sup>2</sup>	災害用備蓄倉庫を含む	
	取調室	214.50 m <sup>2</sup>	26 室	
	事情聴取室	92.40 m <sup>2</sup>	12 室	
	男子仮眠室	118.80 m <sup>2</sup>	シャワー室含む	
	女子仮眠室	19.80 m <sup>2</sup>	シャワー室含む	
	検視室	60.00 m <sup>2</sup>	霊安室を含む	
	食堂	82.50 m <sup>2</sup>		
	倉庫	646.31 m <sup>2</sup>	事務室用、証拠品用、装備品用、拾得物用、刑事資料室	
車庫	675.60 m <sup>2</sup>			
自転車置場	30.00 m <sup>2</sup>			
保護室	17.00 m <sup>2</sup>			
機械室	330.00 m <sup>2</sup>			
通信関係室	33.00 m <sup>2</sup>			
その他	1,879.77 m <sup>2</sup>	玄関ホール、EV4 基（一般 2 基、護送 1 基、車庫人荷用 1 基）、便所、廊下、階段、更衣室、等		
計	7,396.40 m <sup>2</sup>			

## ■ 提案にあたって基本的に考慮する事項

大垣警察署庁舎の基本設計は、過去の警察署の概念に囚われることなく、時代の変化に柔軟に対応できるような計画とすること。

### 【治安機能強化について】

警察署における治安機能として、被留置者等の逃走防止及び外部からの侵入等のセキュリティ対策が求められる。また、高齢者・障がい者・子ども連れを含む一般来庁者への利便性に配慮しつつ、警察活動上欠かすことのできない機能を確保することが必要となることから、建物内部及び外部の配置計画やゾーニング計画を踏まえた上で治安機能の強化に関する提案を求める。

### 【防災拠点機能について】

警察署は災害発生時に防災拠点としての機能を発揮する必要があることから、様々な災害に対して庁舎の機能継続が重要となる他、災害発生時における活動拠点の基盤として、これに係るスペース等も踏まえて全体を検討する必要がある。そのため、今後の発生が指摘されている大地震を始めとした大規模災害発生時においても建物の機能継続が図られ、災害警備活動上、必要となる機能・スペース確保など活動拠点としての機能強化に関する提案を求める。

【災害警備活動の主な内容】※防災拠点機能として求められるもの

- ①大垣警察署管内の災害警備本部及び各部隊の待機、補給
  - ・災害警備本部の設置
  - ・各部隊員の出動拠点、物資補給
  - ・災害時の通常警察業務の運用（拾得物、捜査、取締、留置業務）
- ②西濃エリア内の支援・中継拠点
  - ・他の警察署への人的・物的支援
  - ・地域的な交通網の情報収集及び救助、支援輸送路の把握と情報発信
  - ・他県からの応援派遣部隊の中継施設（情報伝達、応援活動の指示、物資補給、宿泊スペース）

併せて、建設地におけるコスト面を考慮した有効な災害対策（浸水等）や構造（基礎を含む。）の提案を求める。

### 【時代の変化に対応する施設について】

警察署は建設してから長期に亘り運用することになるため、ライフサイクルアセスメント（環境負荷低減（省エネ）、美観の長期維持を含めたライフサイクルコストの抑制等）を取り入れ、将来的な改修にも柔軟に対応できる設備計画に配慮した庁舎について提案を求める。

また、時代の変化に伴い、高齢者、障がい者、子ども連れなど多様な利用者のニーズに対応でき、勤務する職員も使いやすい先進的な庁舎等の提案を求める。

### 【同一敷地内における既存施設を利用しながらの建替えについて】

大垣警察署新庁舎は、既存施設を利用しながらの建替えであるため、工事期間中の安全対策が重要となる上、狭い敷地であるため、周辺環境への影響も大きく、一定の配慮が必要となる。このため、敷地を最大限有効利用するとともに、周辺環境に配慮した配置計画の提案を求める。